

中期日本海海況予報 No. 2

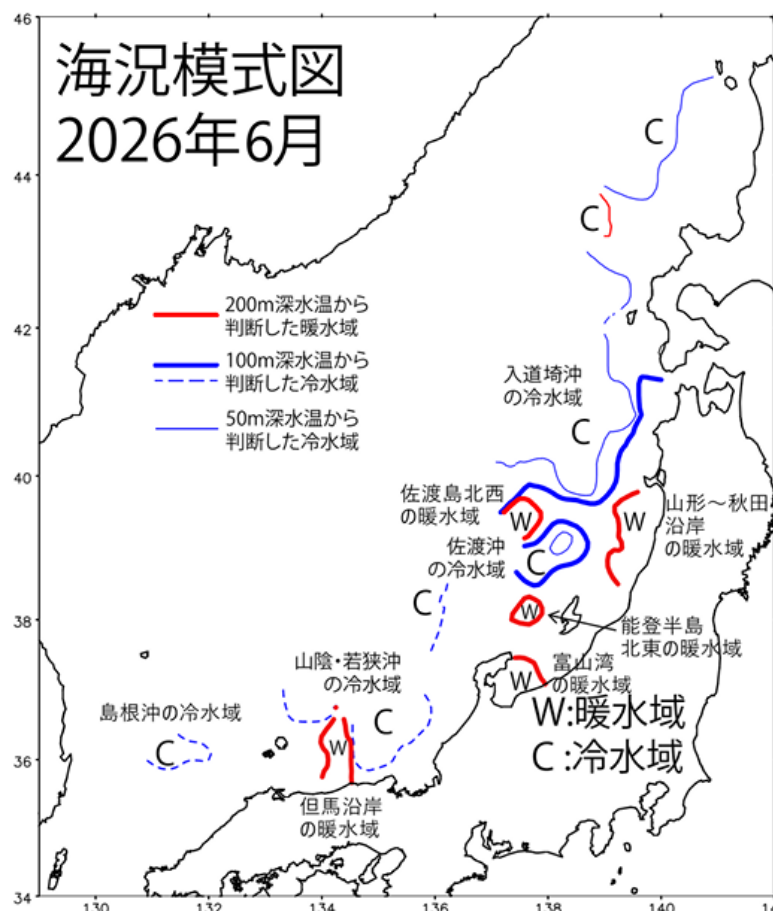
今期の見通し（令和8年7月中旬～9月）

① 水温

- ・対馬暖流域の表面水温は、“やや高め”で経過する。
- ・対馬暖流域の水深50m水温は、日本海西部、北部ともに“やや高め”で経過する。

② 暖水域、冷水域の動き

- ・富山湾の暖水域は北東へ移動し、佐渡島南西に分布。能登半島北東の暖水域は西進し、能登半島北方に分布。佐渡島北西の暖水域は弱体化し、消滅。山形～秋田沿岸の暖水域は西進し、佐渡島北東に分布。
- ・佐渡沖の冷水域の張り出しは、かなり小さくかなり離岸で経過する。



令和8年6月の海況模式図

この予報は、令和8年7月3日に国立研究開発法人水産研究・教育機構水産資源研究所が同研究所及び関係道府県の調査結果をとりまとめ発表した日本海の家況予報に基づいて作成しました。なお、日本海全域の情報を知りたい方は、水産研究・教育機構のホームページをご覧ください。

(URL : <https://www.fra.go.jp/home/kenkyushokai/press/index.html>)